

国際法外交雑誌

第111巻 第1号

2012年5月

論 説

- WTOにおける科学の役割
——SPS協定の限界と近年の体制内の変化—— 大阪大学准教授 内記香子 1
- 国連安全保障理事会における立憲主義の可能性と課題
——国際テロリズムに関する実行を素材として—— 山形大学准教授 丸山政己 20
- 国際経済法における規範構造の特質とその動態
——立憲化概念による把握の試み—— 静岡県立大学専任講師 伊藤一頼 47

研究ノート

- 軍縮分野における多数国間条約の交渉枠組みについて
外務省総合外交政策局国際安全・治安対策協力室課長補佐 福井康人 74
- 「戦争が条約に及ぼす効果」の正当化原理
——18-19世紀初頭学説の一断面—— 東京大学大学院博士課程 若狭彰室 101

資 料

- 2011年の国際司法裁判所裁判官選挙の結果について
外務省国際法局長 長嶺安政 130
- 2011年の国際法委員会委員選挙の結果について
外務省国際法局国際法課長 三上正裕 139
- アジア・アフリカ法律諮問委員会(AALCO)の最近の動向
——総会間活動および2011年開催された第50回年次総会を中心として——
アジア・アフリカ法律諮問委員会委員 石垣泰司 148

紹 介

- 山内惟介著『比較法研究 第一巻 方法論と法文化』
(日本比較法研究所研究叢書79) 関西大学教授 佐藤やよひ 174

國際法外交雜誌

第111卷 第2号

2012年8月

論 說

- 非国家主体の行為の国家への帰属
——包括的帰属関係と個別的帰属関係をめぐって—— 京都大学教授 浅田正彦 1
- 移行期の正義 (Transitional Justice) と国際刑事裁判
——国際刑事裁判の機能変化と課題—— 三重大学教授 洪 恵子 29
- 国連安全保障理事会と文民の保護
——平和維持活動における任務化とその背景—— 宇都宮大学准教授 清水奈名子 55
- 欧州連合 (EU) による市民の保護
——欧州委員会人道援助・市民保護総局 (ECHO) と
欧州対外活動庁 (EEAS) の役割と活動—— 国際基督教大学教授 植田隆子 82

紹 介

- 小川裕子 著『国際開発協力の政治過程
——国際規範の制度化とアメリカ対外援助政策の変容』
東京大学名誉教授 山本吉宣 101

主要文献目録

- 国際法 鈴木めぐみ・永田高英 107
- 国際私法 村上 愛・申 美穂 146
- 国際政治・外交史 三牧聖子・小川裕子 159

会 報

- 国際法学会2012年度(第115年次)春季大会 185

國際法外交雜誌

第111卷 第3号

2012年11月

論 說

- 核兵器の役割低減と國際法 大阪女学院大学教授 黒 澤 満 1
- 「法の支配」の確立と法整備支援
——抵触法的観点から—— 名古屋大学教授 横 溝 大 26
- 軍縮問題と冷戦後のガバナンス・システム 青山学院大学教授 納 家 政 嗣 43

資 料

- 国連國際法委員会第64会期の審議概要 國際法委員会研究会 66
- 國際法協会第75回(2012年)ソフィア(ブルガリア)大会報告 100

紹 介

- 芹田健太郎・棟居快行・葉師寺公夫・坂元茂樹 編集代表『講座國際人權法』
第1巻『國際人權法と憲法』, 第2巻『國際人權規範の形成と展開』
- 芹田健太郎・戸波江二・棟居快行・葉師寺公夫・坂元茂樹 編集代表『講座國際人權法』
第3巻『國際人權法の国内的実施』, 第4巻『國際人權法の国際的実施』
東京大学教授 寺 谷 広 司 114

- K. Bannelier, T. Christakis and S. Heathcote (eds.),
*The ICJ and the Evolution of International Law :
The enduring impact of the Corfu Channel case*
帝京大学准教授 喜 多 康 夫 122

- 金 彦叔 著『國際知的財産権保護と法の抵触』 熊本大学准教授 松 永 詞 乃 美 128
- 大矢根聡 編著『東アジアの國際関係——多国間主義の地平』
東京理科大学准教授 大 庭 三 枝 134

会 報

- 國際法学会2012年度(第115年次)秋季大会 138
- 一般財団法人國際法学会 第1回理事会 160
- 日韓國際法学会共同会議: 北東アジアにおける國際法の現代的諸問題 163
- 報告公募のお知らせ 165
- 主要文献目録について 166

國際法外交雜誌

第111卷 第4号

2013年3月

論 説

- 國際法の人権化 神奈川大学教授 阿部 浩 己 1
- 人権概念と条約の留保規則 関西大学教授 中野 徹 也 29
- 共同犯罪集団 (Joint Criminal Enterprise) の
法理と慣習國際法 防衛大学校准教授 佐藤 宏 美 51
- The Interrelationship of Codification and Progressive Development
in the Work of the International Law Commission
Professor, University of Ottawa Donald McRAE 75

資 料

- 判例研究・國際司法裁判所
リギタン島とシバダン島の主権に関する事件 (インドネシア/マレーシア)
(判決・2002年12月17日) 國際司法裁判所判例研究会 95

紹 介

- 安藤泰子 著『個人責任と国家責任』 神戸学院大学准教授 木原 正 樹 122
- 村瀬信也 著『國際法論集』 大阪学院大学准教授 繁田 泰 宏 127
- Natalie Klein, *Maritime Security and the Law of the Sea*
大阪大学大学院博士後期課程 吉田 靖 之 132
- 蓮生郁代 著『国連行政とアカウントビリティーの概念——国連再生への道標』
國際連合諸機関合同監査団 独立監査官 猪又 忠 徳 138

会 報

- 一般財団法人への移管に伴って制定した規程・規則等 144
- 一般財団法人國際法学会 第1回評議員会 (臨時) 170
- 総目次 178